

稲沢市市民意識調査結果報告

資料 1-3
(全編は市 HP に掲載)

1 調査概要

調査目的	市民の暮らしや理想のまちのイメージ等について把握する
調査対象	市内在住の 15 歳以上の方(令和 7 年 10 月時点)
抽出方法 及び条件	住民票から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送にて配布し、郵送又はオンラインにより回収
調査期間	令和 7 年 10 月 29 日(発送日)から 11 月 17 日
調査時点	令和 7 年 10 月 1 日
発送数	2,500 件
回収数	856件(うちオンライン回答466件)
回収率	34.2%(小数点第2位四捨五入)
回答方法	ネット回答 54.4%、郵送回答 45.6%
調査票	A4 判 12 ページ、無記名式、全32問
調査項目	・ 回答者自身や家族について(9問) ・ 回答者の日常生活について(2問) ・ 回答者が稲沢市に対して感じていることについて(6問) ・ 回答者が稲沢市で希望する暮らしについて(3問) ・ 回答者の稲沢市の現状に対する満足度について(1問) ・ 回答者の生活行動について(11問)
備考	・ 集計は無回答を除いた回答数を母数とした各選択肢の割合を算出している。 ・ 回答結果は小数点第 2 位を四捨五入しているため、各選択肢の割合の合計が 100%にならない場合がある。 ・ 不明(無回答)については、基本的にコメントの対象外とした。 ・ 各設問に示した()内の表記について、SA は単一回答の設問、MA は複数回答の設問であることを示す。 ・ グラフ上もしくは左の n は回答者数を示す。

<前回比較:回答者の稲沢市の現状に対する満足度>

問 21 から問 31 までは第 6 次稲沢市総合計画の参考指標³として設定されたものであるため、前回調査との比較を実施した。

今回の調査では、前回調査と比べて全般的に稲沢市の現状に対する満足度が向上している傾向にある。特に「子育て家庭への支援の充実」、「健康づくりへの支援」、「治安の良さ」、「商業・工業の振興」、「市内で競技スポーツを観賞する機会」、「国際化・多文化共生の推進」、「効率的・効果的な行政運営」、「市の情報発信の充実」、「市民の意見を反映した市政」の各項目で 10 ポイント以上の上昇が見られ、当該分野での取組の成果が反映された可能性がある。一方で、「コミュニティバスの利用しやすさ」は 3 ポイント以上低下しており、利便性等に対する課題がうかがえる。

問21:回答者の稲沢市の現状に対する満足度	2017 年度	方向性	2025 年度	増減	評価
1 名鉄国府宮駅周辺の活気や魅力	30.2%	↗	35.5%	5.3pt	○
2 JR稲沢駅周辺の活気や魅力	24.9%	↗	28.2%	3.3pt	○
3 居住する地域コミュニティの活気	40.2%	↗	49.2%	9.0pt	○
4 道路の整備・利便性	42.4%	↗	44.8%	2.4pt	○
5 コミュニティバスの利用しやすさ	21.9%	↗	18.1%	-3.8pt	×
6 身近な公園・緑地の親しみやすさ	55.3%	↗	56.2%	0.9pt	○
7 自然環境の保全	60.8%	↗	65.5%	4.7pt	○
8 河川のきれいさ	31.5%	↗	39.9%	8.4pt	○
9 ごみの減量やリサイクルの推進	73.6%	↗	71.2%	-2.4pt	×
10 水道水の安定供給	94.7%	↗	94.3%	-0.4pt	×
11 生活排水の安定処理	74.5%	↗	79.5%	5.0pt	○
12 子育て家庭への支援の充実	49.9%	↗	63.4%	13.5pt	○
13 青少年の健全育成	56.4%	↗	64.5%	8.1pt	○
14 保育園や放課後児童クラブなど保育サービスの充実	60.7%	↗	68.2%	7.5pt	○
15 学校教育の充実	63.3%	↗	64.5%	1.2pt	○
16 地域で支え合う「共助」による福祉の充実	43.8%	↗	52.1%	8.3pt	○
17 高齢者が暮らしやすい環境	42.2%	↗	41.8%	-0.4pt	×
18 障害者が暮らしやすい環境	32.3%	↗	32.9%	0.6pt	○
19 健康づくりへの支援	48.1%	↗	58.2%	10.1pt	○
20 スポーツがしやすい環境	45.8%	↗	49.1%	3.3pt	○
21 医療体制の充実	57.1%	↗	60.6%	3.5pt	○
22 消防・救急体制の充実	82.8%	↗	86.4%	3.6pt	○
23 災害対策・防災体制の充実	59.9%	↗	67.0%	7.1pt	○

³ 第 6 次稲沢市総合計画の参考指標は以下の通り。

<https://www.city.inazawa.aichi.jp/cmsfiles/contents/0000001/1616/siryo5.pdf>

24 治安の良さ	65.9%	↗	76.3%	10.4pt	○
25 交通安全対策の充実	54.9%	↗	60.6%	5.7pt	○
26 各種市民相談の充実	57.5%	↗	65.8%	8.3pt	○
27 商業の振興	32.1%	↗	42.4%	10.3pt	○
28 工業の振興	43.1%	↗	54.0%	10.9pt	○
29 農業の振興	49.3%	↗	57.0%	7.7pt	○
30 市内雇用の安定性・多様性	37.7%	↗	42.3%	4.6pt	○
31 労働者支援の充実	30.0%	↗	40.5%	10.5pt	○
32 観光振興	31.2%	↗	38.0%	6.8pt	○
33 文化財の保護・活用	61.5%	↗	67.4%	5.9pt	○
34 市内で芸術を鑑賞する機会	46.9%	↗	49.2%	2.3pt	○
35 市内で競技スポーツを観賞する機会	28.5%	↗	46.3%	17.8pt	○
36 生涯学習・文化活動を行う機会	47.3%	↗	52.9%	5.6pt	○
37 男女共同参画の推進	45.4%	↗	52.6%	7.2pt	○
38 国際化・多文化共生の推進	36.3%	↗	47.6%	11.3pt	○
39 効率的・効果的な行政運営	33.8%	↗	47.4%	13.6pt	○
40 窓口サービスの利便性	57.7%	↗	63.0%	5.3pt	○
41 市の情報発信の充実	53.9%	↗	66.5%	12.6pt	○
42 市民の意見を反映した市政	30.1%	↗	41.2%	11.1pt	○

<前回比較:回答者の生活行動について>

前回調査と比較して「災害時の飲料水や食糧を備蓄している」が 14.1 ポイント増と大きく伸長し、併せて「日ごろから健康維持・増進に心がけている」、「日ごろからスポーツに親しんでいる」でも増加しており、防災意識や健康志向の高まりが確認できる。一方で、「ごみの減量に心がけている」、「自宅等の緑化に努めている※」では、10 ポイント以上減少しており、他にも数ポイント減少した項目が見られた。

	2017 年度	方向性	2025 年度	増減	評価
問 22:日常の交通手段としてコミュニティバスを利用する	7.9%	↗	6.4%	-1.5pt	×
問 23:自宅等の緑化に努めている※	64.2%	↗	53.4%	-10.8pt	×
問 24:環境美化活動に参加している	41.0%	↗	37.4%	-3.6pt	×
問 25:ごみの減量に心がけている	48.2%	↗	36.5%	-11.7pt	×
問 26:日ごろから健康維持・増進に心がけている	48.2%	↗	53.2%	5.0pt	○
問 27:日ごろからスポーツに親しんでいる	33.8%	↗	38.5%	4.7pt	○
問 28:かかりつけ医をもっている	69.8%	↗	69.8%	0.0pt	—
問 29:市民病院を利用する※	33.9%	↗	26.3%	-7.6pt	×
問 30:災害時の飲料水や食糧を備蓄している	54.3%	↗	68.4%	14.1pt	○
問 31:市民協働のまちづくりに参加している※	16.4%	↗	9.1%	-7.3pt	×

※印は 2025 年度調査で設問文の一部修正を行ったもの